

| | | | |
|----------|---|-----|--|
| 科目 | 工業英語I (ESP, Engineering I) | | |
| 担当教員 | 佐藤 徹哉 教授 | | |
| 対象学年等 | 電気工学科・3年・後期・必修・1単位(学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | B4(100%) | | |
| 授業の概要と方針 | 英語の基本的な単語や文法は理解されていることを前提に、論文・特許・規格書等の技術文書や、身近な商品に関する例文など、実社会で用いられている例文に多く触れることにより、国際社会で活動する技術者(特に電気電子系の技術者)に必要とされる英語力を養成する。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【B4】英語の基本的な単語と文法を利用して、比較的平易な英文を理解できる。 | | 英語で書かれた比較的平易な英文が理解できるか中間試験および定期試験で評価する。 |
| 2 | 【B4】電気電子(エレクトロニクス)分野で使用されることが多い専門用語や表現を理解できる。 | | 電気電子(エレクトロニクス)分野で使用されることが多い専門用語や表現を理解できるか中間試験および定期試験で評価する。 |
| 3 | 【B4】多様な英文の速読に慣れて、すばやく大意をつかむ。 | | 多様な英文の速読に慣れて、理解できることを中間試験および定期試験で評価する。 |
| 4 | 【B4】電気電子(エレクトロニクス)分野で使用されることが多い英文文書のスタイルや特徴に慣れて、すばやく大意をつかむ。 | | 電気電子(エレクトロニクス)分野で使用されることが多い英文文書のスタイルや特徴に慣れて、理解できることを中間試験および定期試験で評価する。 |
| 5 | 【B4】工業英語分野における基礎から応用に渡る知識を身につける。 | | 工業英語の小テストで評価するが、工業英検試験結果での代替も可とする。(3級合格15点/不合格A:14点/不合格B:12点, 4級合格10点/不合格A:8点/不合格B:6点, 不合格C代替不可) |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、試験85% 小テスト15%として評価する。小テストは工業英語に関する試験を行い評価するが、工業英検試験結果での代替(到達目標5の評価基準参照)も可とする。別途、3級合格で80点以上、準2級で90点以上、2級で100点の評価をする。 | | |
| テキスト | オリジナルテキストとしてA4縦サイズのプリントを配布する | | |
| 参考書 | 工業英検3級問題集(2015年度版), 公益社団法人日本工業英語協会(日本能率協会マネジメントセンター) 工業英検3級問題集(2014年度版), 公益社団法人日本工業英語協会(日本能率協会マネジメントセンター) 工業英検3級対策, 公益社団法人日本工業英語協会(日本能率協会マネジメントセンター) 工業英検3級クリア, 公益社団法人日本工業英語協会(日本能率協会マネジメントセンター) Studying Engineering, A Road Map to a Rewarding Career: published by Discovery Press | | |
| 関連科目 | 英語, 英語演習, 工業英語II | | |
| 履修上の注意事項 | 国際技術者が実際に扱う本物の英文素材を用いるため、英語としても扱う技術内容としても高度であり、十分な予習・復習が必須です。また、工業英検4級合格は必達とします。 | | |

